

95

午後

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 24 年 2 月 16 日 13 時 55 分～15 時 00 分)

注意事項

- 1. 試験問題の数は 50 問で解答時間は正味 1 時間 5 分である。
- 2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産業務が行えるのはどれか。

- 1. 合格発表日以降
- 2. 合格証書受領日以降
- 3. 助産師籍登録日以降
- 4. 免許証受領日以降

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
			↓	
101	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)

102 助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、	答案用紙②の場合、
102 ① ② ③ ④ ⑤	102 ① ①
↓	② ②
102 ① ② ③ ● ⑤	③ → ③
	④ ●
	⑤ ⑤

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、	答案用紙②の場合、
103 ① ② ③ ④ ⑤	103 ① ●
↓	② ②
103 ● ② ③ ④ ●	③ → ③
	④ ④
	⑤ ●

- 1 助産師制度の変遷で正しいのはどれか。
 1. 産婆規則によって産婆の職業的身分が法的に確立した。
 2. 産婆規則に代わって産婆法が制定された。
 3. 保健婦助産婦看護婦法の制定で助産婦の業務が拡大された。
 4. 医療法の改正によって助産師へ名称が変更された。

- 2 ジェンダーギャップ指数〈Gender Gap Index〉で正しいのはどれか。
 1. 指数0は男女完全平等を示す。
 2. 世界保健機関〈WHO〉が公表している。
 3. 世界における日本の順位は中央よりも下位である。
 4. 算出には第一次産業従事者を除いたデータが用いられる。

- 3 妊娠時のインフルエンザ感染について正しいのはどれか。
 1. 罹患は胎児水腫の原因となる。
 2. 妊娠の全期間を通じてワクチンを接種してよい。
 3. 抗インフルエンザウイルス薬の投与は禁忌である。
 4. 罹患による母体心肺機能への影響は非妊時よりも小さい。

- 4 ヒトパピローマウイルス〈HPV〉ワクチンについて正しいのはどれか。
 1. 2回接種が推奨されている。
 2. 全ての型のHPVに対応している。
 3. 性交渉未経験の女性に効果が高い。
 4. 接種後は子宮頸がん検診は不要である。

5 妊娠中の生殖器の変化で正しいのはどれか。

1. 膣の酸度は pH 4 前後になる。
2. リビド着色とは外陰部の色素沈着である。
3. 子宮頸部の軟化は体部と同時期に始まる。
4. 経産婦では妊娠初期から内子宮口は開大している。

6 栄養素と妊婦が過剰摂取することによって起こる児の異常との組合せで正しいのはどれか。

1. ビタミン A ———— 先天奇形
2. ビタミン D ———— 低出生体重児
3. 亜鉛 ———— 味覚障害
4. 葉酸 ———— 神経管閉鎖障害

7 22歳の初産婦。陣痛発来のため入院した。出産準備教育を受けていない。陣痛間欠8分、陣痛発作30秒。「これからお産がどうなっていくのか分からない。陣痛が怖くて、今後耐えられるか不安です」と訴えている。

産婦の話を傾聴した後、助産師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 「私たちに任せておけば大丈夫です」
2. 「痛くても大声を出さないようにしましょう」
3. 「お産の進み具合や過ごし方を説明しましょう」
4. 「両親学級のテキストを渡すので読んでください」

8 30歳の初産婦。妊娠32週0日に水様帯下の増量を主訴に受診した。体温36.8℃、脈拍60/分。下腹部に圧痛を認めない。内診で子宮口1cm開大、展退度30%。経膈超音波断層法で子宮頸管長33mm。腔分泌物でBTBは青変しない。癌胎児性フィブロネクチン陰性。顆粒球エラスターゼ活性上昇を認めない。血液検査で白血球の増加やCRPの上昇を認めない。分娩監視装置で8～12分ごとの子宮収縮がある。

この時点の助産診断で正しいのはどれか。

1. 高位破水
2. 切迫早産
3. 絨毛膜羊膜炎
4. 子宮頸管無力症

9 初感染の性器ヘルペスウイルス合併妊娠で正しいのはどれか。

1. 出生した新生児は結膜炎を発症する。
2. 感染経路は産道感染よりも経胎盤感染が多い。
3. 発症後1か月以内の分娩は帝王切開を選択する。
4. 新生児ヘルペスを発症した場合、予後は良好である。

10 出生時体重2,000gの児でAGA〈appropriate for gestational age〉に比べ、SGA〈small for gestational age〉に生じやすい異常はどれか。

1. 貧血
2. 黄疸
3. 呼吸障害
4. 動脈管開存症

11 20歳の初産婦。産褥20日に新生児訪問の際、児の大泉門部分に堅くこびりついている垢を指して「ここをどうしていいか分からないのです」と助産師に尋ねた。

原因を説明した後の指導で最も適切なのはどれか。

1. 対処方法を口頭で説明する。
2. 対処方法を実演しながら説明する。
3. 小児科医師に相談するように話す。
4. 1か月健康診査の際に相談するように話す。

12 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)に規定されているのはどれか。

1. 母子保健推進員の役割が規定されている。
2. 事実上婚姻関係にある場合も保護の対象となる。
3. 対象となる被害は、身体に対する暴力に限られる。
4. 医療従事者は、被害状況の通報義務よりも守秘義務を優先する。

13 産科ショックの症状で喘息様呼吸困難を起こすのはどれか。

1. アナフィラキシーショック
2. 敗血症性ショック
3. 神経因性ショック
4. 出血性ショック

14 Seitz〈ザイツ〉法によって把握できるのはどれか。

1. 胎児頤部の位置
2. 骨盤内の児頭陥入の程度
3. 両側の坐骨結節内縁間距離
4. 恥骨結合下縁から岬角中央までの距離

15 ゲート・コントロール説を応用した産痛緩和法はどれか。

1. 瞑 想
2. 呼吸法
3. マッサージ
4. リラクゼーション法

16 正常新生児の良好な吸啜状態はどれか。

1. 速いテンポで吸啜している。
2. 児の頬にくぼみがみられる。
3. 吸啜時に舌の音が聞こえない。
4. 児の下唇は内側に巻き込まれている。

17 日齢5の新生児。2,980 gで出生した。8%の生理的体重減少があったが、日齢4から体重は増加傾向になった。体重2,880 gである。哺乳は約10回/日で母乳のみであり、吸啜状態は良好である。排尿は9回/日、排便は6回/日である。

アセスメントで適切なのはどれか。

1. 順調な経過である。
2. 哺乳回数が多過ぎる。
3. 体重増加が不良である。
4. 人工乳を補足する必要がある。

18 ヒトT細胞白血病ウイルス-1型(HTLV-1)抗体陽性の妊婦に提供する情報で正しいのはどれか。

1. 胎児奇形症候群を発症する確率が高い。
2. 陣痛発来前に帝王切開で分娩する必要がある。
3. 出生した児にワクチン接種をする必要がある。
4. 栄養法は、完全人工栄養、短期母乳栄養および凍結母乳栄養から選択する。

19 正常分娩で出生した2,900 gの新生児。1時間後のバイタルサインは、皮膚温35.8℃、直腸温36.5℃、呼吸数40/分、心拍数170/分であった。

対応で適切なのはどれか。

1. 温めたりネンで覆う。
2. 室温を24℃に設定する。
3. 閉鎖式保育器を37℃に設定する。
4. 次回のバイタルサインの測定は2時間後とする。

20 病院に向かっている途中で女性が出産してしまったと、タクシーの運転手が助産所に駆け込んできた。助産師がタクシーの後部座席を見ると、啼泣している新生児を抱いた女性とその夫がおり、胎盤が娩出されていた。助産師は女性と児の安全を確保した。

この状況での出生証明書に関する助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 助産師が記載する。
2. 嘱託医に記載を依頼する。
3. 夫が記載する必要があると説明する。
4. 警察に記載を依頼するように夫に説明する。

21 29歳の1回経産婦。助産所に電話で自宅分娩の介助を依頼してきた。妊婦は、現在妊娠14週。妊娠経過は正常であり、助産師による対応が可能である状態と判断した。

自宅での分娩介助の可否を決定するために優先して確認するのはどれか。

1. 妊婦の住所
2. 第1子の年齢
3. 自宅の間取り
4. 公的医療保険の種類

22 産科棟での災害対策で適切なのはどれか。

1. 災害用備品として流量膨張式バッグを常備しておく。
2. 災害時、母子同室中の新生児の搬送者は母親とする。
3. 平常時から新生児用コットは沐浴槽の近くに配置する。
4. 災害時、新生児を搬送する手段は新生児用コットとする。

23 重大な催奇形性のために使用が禁止されていた薬物で、近年になり妊娠が否定できる場合にのみ投与が可能となったのはどれか。

1. ジエチルスチルベストロール(DES)
2. テトラサイクリン
3. サリドマイド
4. チアマゾール
5. フェニトイン

24 分娩後に発症する羊水塞栓症の所見で頻度が高いのはどれか。

1. 発熱
2. 片麻痺
3. 聴力障害
4. 視野狭窄
5. 非凝固性の子宮出血

25 常位胎盤早期剝離に特異的な所見はどれか。

1. 心窩部の不快感がある。
2. 粘液状の性器出血が少量ある。
3. 痛みを伴わない不規則な子宮収縮がある。
4. 超音波断層法で胎盤の肥厚像を認める。
5. 超音波断層法で胎盤に高輝度エコーが散在している。

- 26 正常分娩の介助技術で正しいのはどれか。
1. 児頭の後頭結節が恥骨弓下を滑脱するまでは反屈位を促す。
 2. 第3回旋開始時には産婦に努責をかけるよう誘導する。
 3. 第4回旋開始時に肩甲娩出を行う。
 4. 第4回旋誘導時は産瘤のある側を恥骨結合方向へ回旋させる。
 5. 肩甲娩出後は骨盤誘導線の方向と反対方向に躯幹を娩出させる。
- 27 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律に基づく短時間勤務制度を利用できる子の年齢上限はどれか。
1. 1歳2か月
 2. 1歳6か月
 3. 3歳
 4. 小学校就学の始期
 5. 小学校3年生の始期
- 28 妊娠中と比較した分娩第1期の母体の状態で正しいのはどれか。2つ選べ。
1. 血液凝固能は亢進する。
 2. 静脈還流量は減少する。
 3. 1回心拍出量は減少する。
 4. 消化吸収機能は低下する。
 5. カテコラミン値は低下する。

29 Bowlby(ボウルビイ)が母子関係形成理論で述べたのはどれか。2つ選べ。

1. インプリンティング
2. アタッチメント
3. 基本的信頼
4. 3歳児神話
5. 母性剝奪

30 乳汁分泌を抑制するのはどれか。2つ選べ。

1. 休 養
2. 脱 水
3. 温巻法
4. 乳汁うっ滞
5. 頻回の授乳

31 超音波断層法による妊娠期の診断で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 子宮内に胎嚢が認められるのは妊娠7週以降である。
2. 多胎妊娠の膜性診断は妊娠8～10週ころに行う。
3. 子宮頸管長は妊娠30週で30mm以上が正常である。
4. 児の推定体重は児頭大横径と頭殿長とによって算出する。
5. AFIは子宮底部と子宮下部との2か所の羊水腔の計測によって求める。

32 43歳の女性。妊娠9週。超音波断層法で胎児心拍を認める。合併症はない。

この女性に対する説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 流産のリスクが低い。
2. 胎児の心奇形のリスクが高い。
3. 妊娠高血圧症候群となるリスクが高い。
4. 母体血清マーカー試験を受ける必要がある。
5. 羊水検査による出生前診断の対象となり得る年齢である。

33 新生児において交換輸血の適応となる核黄疸の症状(Praagh I期症状)はどれか。

2つ選べ。

1. 嗜 眠
2. けいれん
3. 後弓反張
4. 落陽現象
5. 哺乳力の低下

34 8か月児のいる家庭で、児の事故防止のために必要な日常生活上の助言で正しい

のはどれか。2つ選べ。

1. 「小さな物は、お子さんの身長と同じ高さに置いてください」
2. 「テーブルにはテーブルクロスをかけないでください」
3. 「洗面所には子ども用の踏み台を設置してください」
4. 「浴槽の残り湯は20 cm以下にしてください」
5. 「階段には転落防止柵を付けてください」

35 小学校の低学年を対象に、文部科学省の「学校における性教育の考え方、進め方」に基づいて、性の健康教育を行うこととなった。

テーマとして適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 男女の身体の違い
2. 性感染症の予防法
3. 二次性徴と性ホルモン
4. 月経時の手当ての仕方
5. 自分を大切にすること

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

29歳の初産婦。妊娠11週。妊娠初期の血液検査で、HBs抗原が陽性であった。手術や輸血の既往はない。

36 HBe抗原検査を行う際の妊婦への説明で正しいのはどれか。

1. 検査は全額自費で実施する。
2. 結果が陽性の場合、予防接種を受けないと90%以上に母子感染が起こる。
3. 結果が陰性の場合、予防接種を受けなくても母子感染は起こらない。
4. 結果が陽性の場合、胎内感染は起こらない。

37 HBe抗原検査の結果は陽性であった。B型肝炎母子感染防止対策に基づく予防措置について説明したところ、妊婦から「予防措置をした場合、母乳はどうすればよいですか」と質問された。

指導で正しいのはどれか。

1. 母乳を制限する必要はない。
2. 搾乳して凍結すれば母乳哺育が可能である。
3. 搾乳して加熱すれば母乳哺育が可能である。
4. 人工乳による哺育とする。

38 妊娠39週2日。3,210gの男児を経膣分娩した。

児へのB型肝炎母子感染防止対策で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 臍帯血のHBs抗原検査を行う。
2. 出生後1週以内に抗HBsヒト免疫グロブリンを注射する。
3. 生後1か月でHBs抗原検査を行う。
4. 生後3か月で抗HBsヒト免疫グロブリンを注射する。
5. B型肝炎ワクチンを3回接種する。

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

34歳の初産婦。保険会社の営業担当で外出が多い勤務をしている。妊娠24週0日までの経過に異常を認めなかった。妊娠28週2日の妊婦健康診査で血圧158/96 mmHg、尿蛋白(－)、尿糖(－)、浮腫(－)であった。

39 助産師は母性健康管理指導事項連絡カードを発行した。

この妊婦の状態に対する標準措置として定められているのはどれか。2つ選べ。

1. 勤務時間の短縮
2. 休業(自宅療養)
3. 横になっての休憩
4. 同一姿勢を強制される作業の制限
5. ストレス・緊張を多く感じる作業の制限

40 妊娠30週1日。頭痛が出現したため受診し、入院した。血圧162/102 mmHg。

尿蛋白(－)、尿糖(－)、浮腫(－)である。

治療薬として適切なのはどれか。

1. ジアゼパム
2. リトドリン塩酸塩
3. 硫酸マグネシウム
4. ヒドララジン塩酸塩
5. アセトアミノフェン

41 妊娠 30 週 2 日。頭痛は消失した。血圧 142/76 mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)、浮腫(－)である。Biophysical profile scoring を行ったところスコアが 6 点、羊水量は正常と判断された。

この時点の対応で適切なのはどれか。

1. 1 週後の再検査
2. 3 日後の再検査
3. 24 時間以内の再検査
4. 分娩誘発
5. 帝王切開

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

30歳の初産婦。妊娠40週0日。午前1時から陣痛が発来し、午前8時に入院した。妊娠経過に異常を認めなかった。2日前の妊婦健康診査で身長160cm、体重70kg(非妊時58kg)。血圧110/82mmHg。推定児体重3,000g。尿蛋白(-)、尿糖(-)であった。

42 入院時の内診で子宮口2cm開大、展退度60%、Station-2、未破水であった。

胎児心拍モニタリングを40分間行った。基線は140bpm、基線細変動は10～15bpm。基線から15bpm以上増加し15秒以上持続する波形を7回、子宮収縮に伴い15秒で110bpmまで低下後直ちに回復した波形を1回認める。

対応で適切なのはどれか。

1. 散歩を促す。
2. 引き続きモニタリングを行う。
3. 酸素吸入を行う。
4. 絶飲食にする。

43 午前10時、産婦は「お尻の方が少し押されてくる感じです」と言う。内診で子宮口6cm開大、展退度80%、Station±0、小泉門を5時に触れ、卵膜を触知した。

経過の判断で正しいのはどれか。

1. 正常経過
2. 軟産道強靱
3. CPD
4. 早期破水
5. 回旋異常

44 午後8時、3,100gの児を経膣分娩した。胎盤娩出後に凝血塊を含む暗赤色の出血を大量に認めた。その直後から、産婦は「気分が悪い」と訴えた。顔面は蒼白である。血圧128/68 mmHg、脈拍72/分。呼吸困難を認めない。

この時点で最も考えられるのはどれか。

1. 肺塞栓
2. 腔血腫
3. 頸管裂傷
4. 弛緩出血

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

40歳の初産婦。妊娠経過に異常を認めなかった。妊娠41週2日、陣痛発来し未破水で入院した。GBS(－)。胎児機能不全のため、吸引分娩で4,100gの児を娩出した。分娩所要時間は12時間30分であった。

45 出生直後、児の啼泣が弱かったため、助産師は体表の水分を拭き取った上で、児の背部を軽く刺激した。出生後1分、啼泣は弱く、心拍数は80/分であった。

児への対応として適切なものはどれか。

1. 気管挿管
2. アドレナリン投与
3. 殿部への強い刺激
4. バッグ・マスク換気
5. フリーフローによる酸素投与

46 出生後5分、Apgar〈アプガー〉スコアは8点であった。児の右上肢に運動麻痺を認める。鎖骨骨折はなく、呼吸に伴う胸郭の運動に左右差を認めない。

障害されている部位はどれか。

1. 第1－2頸椎
2. 第3－4頸椎
3. 第5－6頸椎
4. 第7－8頸椎
5. 第1－2胸椎

47 出生後6時間、両下肢の細かい振戦と口をもぐもぐさせる運動とを認める。血糖は60 mg/dl。

次に行う検査はどれか。

1. 腰椎穿刺
2. 頭部MRI
3. 動脈血ガス分析
4. 頭部超音波検査

次の文を読み 48～50 の問いに答えよ。

Aさん、17歳。レストランでアルバイトをしている。Aさんには親からの被虐待歴があったため、以前から市保健師がAさんを支援していた。Aさんは、妊娠したかもしれないと市保健師に相談した。市保健師に伴われて産科病院を受診した結果、妊娠7週0日と診断された。同居しているパートナーは20歳の大学生で、同じレストランでアルバイトをしている。

48 Aさんは病院助産師に「産みたいけれど、お金がないので心配です。彼は入籍しようと言っています」と言う。病院助産師は市保健師とAさんへの支援について話し合った。

この時点の支援で優先すべきなのはどれか。

1. 婦人保護施設に入所を勧める。
2. 入院助産制度について説明する。
3. 母子保健推進員に見守りを依頼する。
4. ひとり親家庭医療費助成金について説明する。

49 妊娠29週0日。身長163cm、体重50kg(非妊時45kg)。体温36.6℃、脈拍68/分、血圧160/92mmHg。尿蛋白1+、尿糖(-)。Hb 9.0g/dL、Ht 31%。医師は入院加療を勧めたが、Aさんは「入院はしたくない」と言う。

病院助産師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 次回の妊婦健康診査は2週間後として帰宅させる。
2. 家事はパートナーがするよう伝えて帰宅させる。
3. アルバイトを休むよう伝えて帰宅させる。
4. 入院の必要性を再度説明する。

50 妊娠 33 週 0 日、A さんは胎児発育不全と診断され入院した。妊娠 34 週 2 日に帝王切開で 2,020 g の児を娩出した。児は NICU に入院となった。A さんは「赤ちゃんが小さくて怖い。どのように育てればいいのかわかりません」と話していた。A さんが退院後、パートナーだけが冷凍した母乳を持って児の面会に来ていた。生後 1 か月で児は退院が可能となった。病院助産師は市保健師と NICU 看護師とで、A さんへの支援の方針を話し合った。

A さんへの支援で最も適切なのはどれか。

1. 乳児院への入所
2. 里親制度の利用
3. 「子育てひろば」への参加
4. 養育支援訪問事業の活用

